

防雪柵設置で通勤者喜ぶ。さらに促進を！

新井柿崎線整備促進議員連盟が現地視察後、県に要望

主要地方道新井柿崎線整備促進議員連盟の総会が7日にありました。宮崎政国会長は、13年前になぜこの組織を立ち上げたかを振り返りつつ、いま強く要望が出されている防雪柵や歩道整備などの状況説明をし、要望実現に向けた地元地域の合意の大切さなどについても触れられました。

午後1時から恒例となった新井柿崎線の現地視察です。マイクロバスには関係する市議、県議が乗り込み、公用車で県上越地域振興局職員、市役所職員も同行しました。板倉区熊川、清里区今曾根、青野、頸城区のくびき駅付近、大湊区内雁子

などでバスを降り、地元町内会長などから要望についての説明を受けました。現地などでは、「車が通ると、風圧で安心して歩けない」「地吹雪のため、車をコンビニに置いて歩いた人たちがいた」「防雪柵が設置され、通勤している若い人たちが喜んでいいる。さらに整備を進めていただきたい」といろいろな声が聞かれました。

午後5時から高田にて県議や振興局幹部に対して要望書が提出され、その後、意見交換が行われました。要望を受けて、地域振興局の荻原地域整備部長は、「新井柿崎線は上越地域の東側を通る重要道路だ。

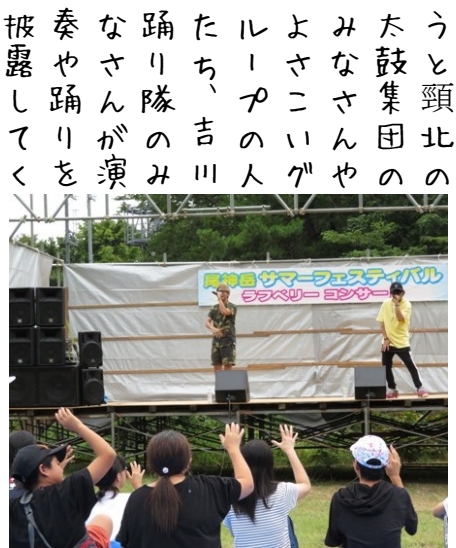
1日あたり7000台もの車が通り、大型車も多い。上沼道との関連でさらに重要度が増している。県予算を取り巻く環境は厳しいが、予算獲得に努めていきたい」と挨拶しました。また、道路課長や道路維持管理課長などが具体的な要望か所について説明しました。

このなかで担当課長は、防雪柵の設置については、「内雁子地内から北へのばしている。年間2億円ほどかけているが、あと数年かかる見込みだ」と報告されました。また、歩道整備については、「県庁では小学生的通学路の歩道整備が最優先されている。中学生、大人は危険判断が出来るとの見地から後になっていく」とのことでした。さらに、側溝の整備ですが、「足を落とした、車を傷めた等、そういう何か所を先にやっている。必要性などを見極めて改善していきたい」と語りました。

ラフベリィが尾神岳のパラ練習場でコンサート



【ミョウガ】 ショウガ科の多年草。漢字で「茗荷」と書きます。ふだん、食用としてミョウガと言っているものは花穂で、内部には開花前のつぼみが詰まっています。花は薄黄色で透明感があります。写真は吉川区尾神にて12日撮影。



ラフベリィは新潟県内を中心に全国展開している2人の歌い手さんですが、この日は素敵な歌声を1時間近く、尾神岳に響かせてくれました。

私には初めて聴く歌ばかりだったのですが、私の心の波長に合う曲だと思えました。何よりも歌詞がいい。たとえば、「かあちゃん アナタへ。」「いつも頑張っているのは良くわかっていいるよ。アナタがくれた温もり感じているから。今日もまた優しくなれる」。一回聴いただけで好きになりました。そして、「一輪の花」の歌詞も素敵です。「小さな花大きな花 色形それぞれ違えけれど、いつか咲く綺麗な一輪の花……」。心に響きましたね。

11日の午後、尾神岳のパラ練習場で行われた「尾神岳サマーフェスティバル」に参加してきました。3回目となった今回はラフベリィのコンサートです。

今回のコンサートを盛り上げよ



はしづめ法一の活動レポート

No.1871 2018.8.19
 発行・編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
 Tel 025-548-3628
 通じないときは 090-5392-1961
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見てある記」はこちら

 橋爪法一 検索

春よ来い

第五一九回 一日花(2)

たった一日で花が終わってしまう花。これまででもナツツバキなどの一日花について関心を持ってきましたが、短毛丸(たんげまる)というサボテンの花がこんなにも美しく、命の短い花だとは……。心打たれました。

お盆直前の一二日の朝のことでした。大瀧区に住む弟が電話をくれたのは。「玄関にサボテン、置いてきたから、見てくんない。サボテンの花が明日には咲くと思うんだわ。花は一日しかもたない、一日花だけど、ものすごくきれいだよ。花の中も何とも言えないし……」。

布団の中で、電話を受けた私は、起床し、玄関へ行って見ました。玄関戸のそばに木の台に載ったサボテンの植木鉢がありました。鉢の中には、直径一〇センチほどのサボテンが二つあり、少し大きめの方には二つのつぼみが、もうひとつのサボテンには一つのつぼみが斜め上に向かって伸びていました。いずれのつぼみも少しふくらみが見えたものの、すぐに咲くようには見えませんでした。

この日は大忙しでした。板倉区の孤立、久々野で干ばつ被害にあった田んぼを見てきました。前々日から三〇ミリくらいの雨が降ったことから、被害にあった稲がどうなったかを確認したからです。光ヶ原高原での夏祭りの様子も見ました。その後は清里区のTさんを訪ね、そこから牧区の大月、安塚区の上方面にも行ってきました。牧区も安塚区も干ばつ被害の田んぼを見るためです。田んぼは一部で回復しつつあるものがありました。多くは絶対的な水不足状態が続いていました。

事務所ですら仕事をすることもあって、家に戻ったのは夜の九時近くだったと思います。車のライトを照らしながら玄関のそば

まで行くと、なんとサボテンの白い花が満開となつていて、じやありませんか。私はこんなにも早く咲くとは思っていませんでした。花径は一〇センチほど、思っていた以上に大きな花でした。

私は、植木鉢ごと居間に運びました。母にも見ってもらいたかったからです。電動イスに座った母は見たとたん、「まあ、きれいだない」と言いました。びっくりしたのでしょう。家族の者によると、夕方には開花が始まっていました。それが、私の到着する時間までには完全開花していたというわけです。

翌朝、私は起きてすぐ、玄関先へ行って見ました。言うまでもなく、このサボテンの花がどうなったかを見てみたかったからです。夜に咲いたのは予想外でしたので、朝に終わっていたらどうしようと心配になっていました。花は朝日を浴びて、夜よりもきれいに見えました。弟が教えてくれたように、花の中をのぞくと奥が深く、薄緑色になっていきます。しかも花の入り口付近には雌しべをとり囲むようにたくさんの雄しべがありました。それがまた、とても神秘的でした。

私はサボテンの花を仏壇のところを持って行きました。九年前に亡くなった父などの先祖にもぜひ見せてほしかったからです。そして大瀧の弟に電話しました。すると弟は予感していたのでしようね、「やつぱりはしぼんでしまうよ」と言いました。

サボテンの花は午前が盛りでした。近所のKさんに見てもらったら、「お盆の一日に白い花を咲かせているなんて、最高だこて。いいタイミングだね」と言われまして。一三日が一日花の花盛り、今年のお盆は一生忘れられないお盆となりました。

【初のふるさと交流会】

大島区の熊田町内会が初めて取り組んだ「ふるさとふれあい交流会」に参加させていただきました。

町内会の歴史を教えてください。小さな写真展、花嫁行列や耕耘機による代かき風景など懐かしいものもいくつかありました。

写真展を見た後、地元の人や帰省客などとの交流会にも参加させていただきました。手作りのソバや漬物などがテーブルの上に並ぶなか、移住者の方や地元の方などとたのびり話ができました。町内会長さんが帰省客などを前に、「みなさんとのつながりを強めたい」と挨拶されていましたが、地域活動支援事業を活用して地域を何とかしたいとの思いが伝わる、素敵な企画でした。続けてほしいものです。



【川谷もより会でお盆行事】

14日、吉川区にある旧川谷校前の広場で行われていた川谷もより会のお盆行事に参加させていただきました。

地域づくり協力隊の内山さんが阿賀野市で学んだという孟宗竹を使って野菜やウインナーなどを煮る料理方法は豪快でした。嶋谷さんの畑でとれたトウモロコシも焼いていただきました。



会場では天明さんのところで働いている青年やお寺の住職さんなどと農業のこと、柏崎刈羽原発のことなどでゆっくり話ができました。会場では花火も上がりましたよ。



上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月8日(水)	8月15日(水)
上越南消防署	0.053	0.050
上越北消防署	0.050	0.047
新井消防署	0.040	0.047
頸北消防署	0.040	0.050
頸南消防署	0.057	0.063
東頸消防署	0.040	0.047
高士分遣所	0.050	0.050
名立分遣所	0.050	0.040